

## 第35回日本リスク学会年次大会公開セミナー

# 多様化する社会へのリスク学の貢献

### 一般公開 (オンライン: ウェビナー)

2022年11月12日 (土) 15:00~16:50 A会場

社会におけるリスク学の貢献の一つに、リスク概念に基づく管理手法の実装による組織運営の円滑化や社会的課題の解決がある。決して新しいものではないが、科学技術の進歩と実装が加速度的に進む現状において、社会活動の基盤としてのリスク学の役割は大きい。本公開セミナーでは、この古くて新しい議論を、演者から提供される昨今の話題を踏まえて再考する。

本セミナーは、オンラインで一般公開します。弊学会員も含め、視聴を希望される方は下記googleフォームから登録をお願いします。後日、接続や参加の方法をメールでご案内します。

<https://forms.gle/AVCUrBoaDb34TEEbA>

- (1) 趣旨説明：本セミナーの趣旨と進め方について(5分)
- (2) 話題1 「リスク評価なくして、イノベーションなし」  
岸本充生 大阪大学 (20分)
- (3) 話題2 「意思決定のためのリスク評価」  
小野恭子 産業技術総合研究所 (20分)
- (4) 話題3 「社会の多様性とリスクコミュニケーション」  
竹田宜人 北海道大 (20分)
- (5) 意見交換 (45分)  
指定討論者(東泰好氏：日本リスクマネージャネットワーク、米田稔氏:弊学会会長、京都大学) ) 及び参加者、話題提供者がリスク学の社会実装とは何か、横たわる課題を議論する。